

11 月園だより

令和８年１１ 月２日
目黒区立原町保育園園長

先月の碑小学校での運動会には、多くの方にご参加いただきありがとうございました。太陽に負けないキラキラの笑顔を見せていた子どもたちでした。運動会後、２ 歳児から 5 歳児までホールに集まり運動会ごっこをしました。自分のクラスのダンスでは手本となり、他クラスのダンスをみんなで踊りました。そんな中、２歳児が一人ホールの隅で踊らずじっと見ています。保育士が声をかけますが「踊らない」と動きません。しかし、５歳児のバルーンになると自分から「赤がいい」とバルーンの布の赤色部分を持ちたいと言ったので「じゃあ、赤のところに行こう」と声をかけると立ち上がり、手をつないで一緒にバルーン競技に参加しました。小さな手でしっかりと赤い布を掴んで揺らし楽しむ姿に、自分で決めることの大切さを感じられる姿でした。

運動会後は、芋ほり遠足と行事が続きました。翌日の給食は掘ってきた芋を使ったメニューだったので幼児クラスの様子を見に行きました。３歳児クラスに行った時に「昨日、ぽぷら組さん、くすのき組さんが掘ってきたお芋が入ってるけどおいしい？」「うんとこしょどっこいしょって、掘るの大変だったんだよ」と話すと「おいしい！」「ありがとう」「がんばったね」と労いの言葉や「次ぽぷらさんになったらがんばるね」と目指す姿を思い描いている子どもたちでした。行事後も保育がつながり、子どもたちの成長した姿を感じ嬉しくなりました。



11月の予定

12 日（木）交通安全教室
25 日（水）歯科検診
中旬 身体計測・避難訓練



芋ほり遠足



４、５歳児クラスで芋ほり遠足に行ってきました。農園に到着すると、東京ではなかなか見ることができない広い畑に「わぁー！広いー」と歓声をあげる子どもたちでした。いよいよ芋ほりが始まり、土の中からサツマイモの先が見えると、「あっ！サツマイモだ」と嬉しそうに堀り進めていました。大きな芋が掘れると「先生見てー」と大興奮です。その中で、なかなか掘れずに苦戦している友達を見かけると「手伝ってあげようか？」と声かけ一緒に掘ろうとする微笑ましい姿も見られました。収穫後はお土産用の芋を自分で選び、「これは焼き芋、こっちはスイートポテトにする」とお家の方々と一緒に食べることを楽しみにしているようでした。自分の手で収穫する喜びをたくさん味わい、笑顔いっぱいの楽しい遠足になりました。





散歩先での遊びの様子～乳児クラス

「　見つけたよ　」０歳児クラス

みんなでバギーに乗り、林試の森公園へ散歩に出掛けました。公園に着きバギーから降りると「こっちはなんだろう？」「あっちはなんだろう？」とそれぞれ探索が始まりました。思い思いの場所へ移動していると下を見て止まり、何かを見つけて「あー！」と言いながら保育士のところまでやって来ます。子どもが手になにかを持っていることに気が付き「何を見つけたの？」と聞くと、再び「あー！」と言い握っていた長い葉っぱを見せてくれました。また、別の場所ではたくさんのどんぐりに気が付いた子もいました。拾ってはじっと見てゆっくり指を伸ばし触ってみたり、拾ったものを次々と保育士に渡したりすることを楽しんでいました。公園には、子どもたちにとって触りたくなるものがいっぱいです。子どもたちがじっと見つめている先を一緒に眺め「これなんだろうね」「かたいね」などやりとりをしながら、日々の探索活動を一緒に楽しんでいきたいと思います。



「　探すの楽しい　」１歳児クラス

先日林試の森公園に散歩に行ってきました。公園に着くとたくさんのどんぐりが落ちており、みんな夢中で拾っています。保育士がビニール袋を出すと、１人の子が拾ったどんぐりを入れ始め、それに気付いた他の子たちも１つ拾っては入れにきてくれてどんどん袋が膨らんでいきます。「こんなにたくさんどんぐり集まったね」という声かけに子どもたちもにっこりです。保育士が“どんぐりころころ”の歌をうたうと、歌に合わせてどんぐりを転がして遊ぶ姿もありました。どんぐり拾いに満足すると今度は枯葉がたくさん落ちている中、カサカサ音をさせて歩いたり足元の葉を握り雨のように降らせて「きゃはは」と笑い声が響きます。「あめパラパラ～」と風に吹かれて葉が飛んでいく様子も見ていて楽しいようで散歩先では様々な発見があります。たくさん散歩に出かけて秋の自然を楽しむと同時に、追いかけっこをしたりなど、たくさん体を動かして遊びたいと思います。





「　秋の自然を楽しもう　」２歳児クラス

先日、ハト公園へ散歩に行ってきました。公園ではひらひらと飛ぶちょうちょを見つけると、「ちょうさんおいでー」と元気に呼びかける子がいました。その声を聞いて、次々と子どもたちが集まりみんなでちょうちょを追いかける姿が見られました。ちょうちょの動きを目で追いながら一生懸命追いかけて、友達と一緒に喜び、楽しそうな声が響いてきました。それから虫探しが盛り上がり「ダンゴムシここにいるんじゃない」と植え込みを覗き込む子や見たことのない虫を見つけて「なにこれ、虫じゃない？」と友達や保育士に話しています。身近な自然の中で、子どもたちの「見つけた」「なんでだろう」と好奇心がどんどん広がっています。また、一人の発見や言葉がきっかけになり、友達への興味や関心が広がり、子ども同士の繋がりも感じられます。これからもどんぐりや落ち葉など、秋ならではの自然に触れながら、季節の変化を感じたり、発見する楽しさを味わっていきたいと思います。

